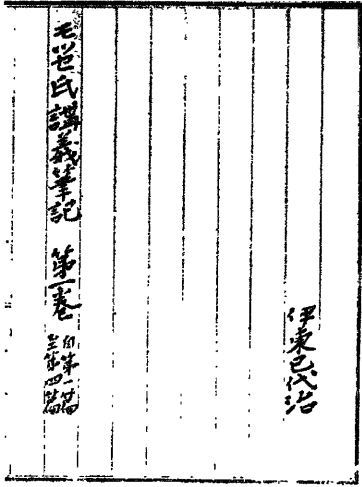
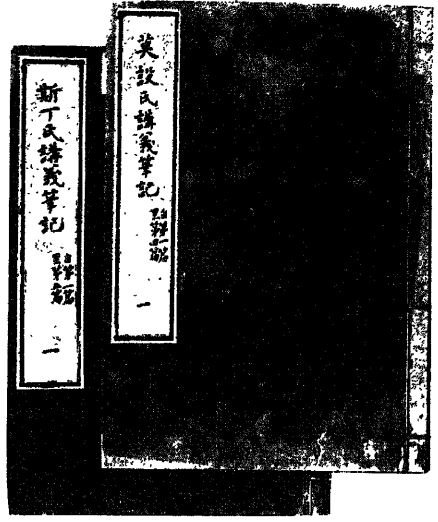


Title	口絵
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1937
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.16, No.4 (1937. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19371229--003">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19371229--003</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.



(4)

(3)

目次

第一編 普國立憲以後之慶治率

附一 普國立憲以後之慶治率

第二編 國王、行政權及憲臣、卿、家、對、上、貴、臣

第三編 國王、行政權、特權、總統、法、并、貴族、爵位

附一 普國立憲、制

第四編 土地、繼承、順序、及、國王、財產、制

附一 普國立憲、代理、官制

五編

一千八百八拾二年五月廿五日 第一編

普國憲法ノ明條ニ就テ解説セ下シ其義ノ講

明スルニ當テハ先ツ普國立憲政体ノ起原ヲ

考ヘ其カニ一其治蹟得失ヲ考フルノ必要ノ

ルヲ信ス我普國立憲政体ノ由テ起ル所ノ為

フルニ其今日ノ政基ノ啓ノモ、突ニ一朝一

夕ノ能ク成ヌ所ニ非カルナリ一千八百六年

ル帝會ニ於テ普國立憲ノ權ヲ以テ歐洲ニ廣クスル

寫眞1

伊藤博文がベルリンにて、グナイストの弟子アルベルト・モッセより聴いた講義記録なる、「莫設氏講義筆記」第一卷(上)と、同じくウイーンにてスタインより聴いた「斯丁氏講義筆記」第一卷(下)の全貌である。前者に就ては本拙稿の第一節及び第五節参照のこと。後者に就ては本誌前號所載の拙稿「伊藤博文の聴けるスタインの講義」第二、三、四節参照のこと。右何れも伯爵伊東治正氏所藏のもの。

寫眞2

右の「莫設氏講義筆記」第一卷の扉。題字は故伊東巳代治伯の筆と認められる。

寫眞3

同右、第一卷扉の次頁より記載せられてゐる「莫設氏講義筆記」全十卷、四十四編の總目次の第一頁である。此目次によつて、同筆記の缺本部分の講題が明かになり、モッセの講義の全貌を窺知することが出来る。本拙稿第一節及び本誌所載の「莫設氏講義筆記」中の目次参照のこと。

寫眞4

「莫設氏講義筆記」第一卷、第一編の第一頁。其「一千八百八拾二年五月廿五日」は博文がベルリン着後九日目に當り、モッセよりの講義の切り出しの頁である。本誌所載の講義筆記本文参照のこと。

(以上、清水 伸)